医療法人社団葵会　柏たなか病院

回復期
リハビリテーション病棟
ご案内

すべては患者様のために

ごあいさつ

柏たなか病院　院長

谷山 新次

脳血管疾患や骨折後、治療や手術を受けて状態が安定し始めてきても、一方では身体機能や能力は低下してきています。この急性期治療後で発症日・受傷日から日時の経過の浅い期間は回復期病棟でのステージとなります。この期間の積極的なリハビリテーションは患者様の身体機能の回復と日常生活で必要な動作の改善に強く作用し、寝たきり防止や社会や家庭への復帰率向上につながります。
当院の回復期リハビリテーション病棟では脳神経外科、整形外科の専属医師が主治医となり、約120名のリハビリスタッフが、免荷式歩行訓練機器や神経筋促通電気治療器等の最先端機器の導入と併せ、リハビリテーション計画に基づき早期のリハビリテーションを開始して患者様のADL能力の回復のため365日休むことなく努力しています。
「すべては患者様のために」をモットーに患者様ができていたことを患者様と共に考える。それが柏たなか病院にできることだと考えております。

リハビリテーション部

部長 理学療法士　濱田 尚行

■がんのリハビリテーション研修修了
■臨床実習指導者講習修了

『もう一度歩けるようになりたい』、『もう一度趣味活動を楽しみたい』、『もう一度話ができるようになりたい』。患者様の希望である様々な『もう一度』を再度実現できるように、全力でサポートいたします。私たちと一緒に頑張りましょう。

リハビリテーション部

管理主任 理学療法士　金子 達哉

■脳卒中認定理学療法士
■サルコペニア・フレイル指導士
■脳卒中下肢装具アドバイザー

患者様・家族様に「柏たなか病院のリハビリテーションは良かった」とおっしゃっていただけるよう、疾患や治療法等の知識・技術の向上に加え、患者様・家族様の心に寄り添うことができるスタッフの育成に尽力してまいります。

リハビリテーション室

ケアキューブの2階と3階に大きなリハビリテーション室を
2室完備しております。
テラスには砂利道や芝生といった応用歩行の練習場所や、
園芸スペース、屋外を一望できる景色も
患者様に好評を頂いております。
365日体制でリハビリテーションを提供しております。

スタッフステーションからリハビリテーション室をガラス越しに見る事が出来るため、患者様の異変に気付きやすく、迅速に対応する事が可能です。

理学療法

病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態の患者様へ、
運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの手段で治療を行います。

免荷歩行器での連続歩行訓練

重度の障害を抱えた患者様でも長時間の歩行訓練を安全に行うことが可能です。
装着も容易で、より多くの時間を歩行訓練に費やすことが可能です。

長下肢装具・短下肢装具での歩行訓練

ゲイトイノベーション(長下肢装具)を完備しております。脳卒中片麻痺患者様に効果的かつ積極的な立位・歩行訓練を行うことで、早期回復につなげていきます。

言語聴覚療法

コミュニケーション機能の障害を持っている患者様へ、訓練や指導などを行います。
また、嚥下機能の改善を目指したリハビリテーションも行います。

言語訓練

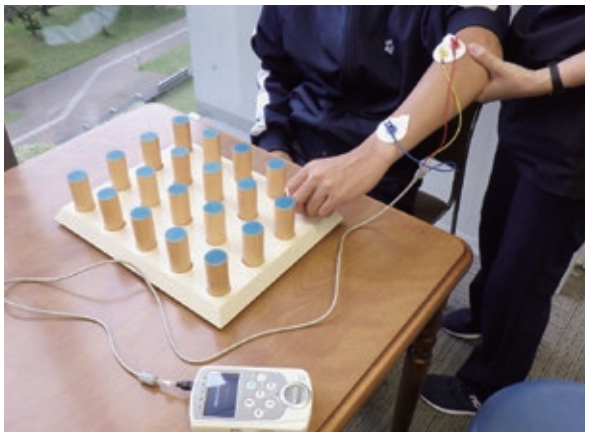
失語症・構音障害の患者様に対し、個別訓練を行っております。言語訓練室が6室と充実しており、患者様に合った訓練を実施することが可能です。

VF・VE検査

入院中の方はもちろん、自宅や施設で過ごされている方が短期入院し、VF・VE検査を実施できる環境が整備されています。

作業療法

「食べる」「入浴する」など、日常生活に関わる基本的能力から、社会の中で適応する能力まで維持、改善し、「その人らしい」生活ができる事を目指します。



上肢機能訓練

IVES（随意運動介助電気刺激 / 刺激装置）を用いて運動学習を促し、麻痺の回復を図る治療法も提供しています。

日常生活動作（ADL）訓練

患者様に自宅の様子を伺い、どのような動作方法、環境設定が最良かを話し合いながら決め、一人ひとりに合わせたADL訓練を実施しています。

自動車運転評価

脳卒中の患者様を対象とした自動車運転評価も可能です。シミュレーターのみならず、近隣の免許センターと提携をしているので実車評価も検討いたします。

嚥下訓練（電気刺激療法の導入）・チームで食事を支援

嚥下訓練時に電気刺激療法を行い、長期的な経口摂取の継続・誤嚥の予防に努めています（ESP 研修修了者が 5 名在籍）。

当院では、週 1 回 NST ラウンドを行い、栄養サポートに力を入れています。「最後まで食べたい」という希望に可能な限り寄り添い、支援しています。

ご自宅への退院に向けて

退院後、ご自宅でなるべく快適に過ごせる様に、
家屋訪問による生活環境の調整から退院後の過ごし方まで、ご提案とサポートをしていきます。

退院前に家屋訪問を行い、生活環境の確認を行います。安全かつ効率的な動作方法と最適な環境調整をご提案させて頂きます。

退院後に必要な応用動作に応じて、公共交通機関の利用や買い物等の院外でのリハビリテーションも実施いたします。

和式生活の方や万が一の転倒に備えた床上動作訓練も実施いたします。

リハビリテーション室内のキッチンを利用し、必要に応じて調理訓練を実施いたします。

ご自宅へ退院

アフターフォローとして

当院の通所リハビリテーションや外来リハビリテーションでは、入院時の情報を共有し、継続的なリハビリフォローを実施いたします。

通所リハビリテーション
（当院1F）

外来リハビリテーション

セラピストの紹介

主任 言語聴覚士
中山 尚美

■ LSVT LOUD 認定資格
■ MIT　トレーナー認定
■ がんのリハビリテーション研修修了

病気、怪我により家族や自宅から離れて生活する不安は計り知れません。「すべては患者様のために」という理念を体現できるよう、日々のコミュニケーションを大切にしています。患者様が安心してリハビリテーションに取り組める環境をつくり、一日でも早く退院できるようスタッフ一丸となって努めてまいります。

副主任 作業療法士
久松　透

■ がんのリハビリテーション研修修了
■ 臨床実習指導者講習会修了
■ 福祉住環境コーディネーター2級

リハビリテーション部では患者様とのコミュニケーションを重視しており、信頼関係を築くことを大切にしています。患者様のニーズに応じ、患者様に寄り添いリハビリテーションを提供するよう心掛けています。患者様の身体と心をサポートし、健康と生活の質を取り戻せるよう努力していきます。

急性期病院様との連携について

急性期病院様との連携を強化するためにも、当院回復期への入院をご紹介していただいた病院関係者様には文書にて退院時に経過報告をさせていただきます。入退院時のFIM、リハビリテーションの経過報告、患者様の退院後の目標等を記載し送付いたします。連携を強化し退院後の患者様も急性期病院と協力してフォローアップ出来るように努めてまいります。

柏たなか病院　回復期

令和２年４月より柏たなか病院回復期リハビリテーション病棟が新築開棟となりました。「すべては患者様のために」というリハビリテーション部理念に基づき、医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士が協力して患者様をサポートいたします。

リハビリテーションは日曜日、祝日も含め 365 日、1 日最大 3 時間実施いたします。最先端の治療機器も積極的に導入し、患者様の日常生活動作（移動、移乗、更衣、排泄、食事、入浴、整容）の自立を目標としたリハビリテーションを実施しております。また、職場復帰や社会復帰、家庭内の役割を再獲得するために必要な事を患者様と共に考えております。

患者様の障害の程度は一人一人異なります。生活されていた環境により退院後の方向性が、それまでの生活と大きく変化する事もあります。しかし、私達は一人一人の患者様が再び最良の人生を歩み出せるように、寄り添い、話し合い、納得していただき、笑顔で退院出来るよう全力で支援いたします。

交通アクセス

電車ご利用の場合

【つくばエクスプレス】
柏たなか駅　徒歩約1分

【JR常磐線・東武アーバンパークライン】
柏駅西口　　柏西口送迎バス

【JR常磐線】
北柏駅北口　北柏送迎バス

車ご利用の場合

常磐自動車道　柏インターより　約8分

送迎バスご利用の場合

田中地区・東急ビレッジ・柏の葉キャンパス
送迎バスあり

※ホームページから時刻表・送迎路線図をご確認いただけます。
http://www.aoikai.jp/kashiwatanaka/

医療法人社団葵会　柏たなか病院

〒277-0803 千葉県柏市小青田1-3-2

04-7131-2000（代表）　FAX.04-7131-5696（連携室直通）

2404020